

樋口 美貴子

Higuchi Mikiko



対面だから話を話せるのがいい

「産後うつになるのはママだけではなく、パパもなる可能性があります。妊娠期間中にお互いによく話し合ってくださいね。出産したら時間はない。何事も仕込みが8割ですよ」。これから出産を迎えるママとパパのための、学びと相談の場であるパパママクラスで樋口さんの声が響きます。樋口さんは市内で2カ所ある助産院の一つ「咲月助産院」の助産師。産前産後や子育てに伴うママやパパの悩みの解消法について共に考えアドバイスしています。

専門学校で看護師を目指す中、助産師の選択肢を知ったという樋口さん。妊娠出産で劇的に変わる女性の体に興味を深め、この道に進もうと思ったそう

真

MANIWA BITO

庭人

つらいから流す涙をなくしたい

「誰かは絶対見てくれるから、大丈夫」。樋口さんの心に残る母の言葉です。静かに優しく照らす月の

です。しかし病院での激務や退院されたママへの心配から、もっと一人一人に寄り添いたい、地域で働きたいと感じていったそう。助産院を開業した今は、ゆとりを取り戻してその人の悩みに向き合える。開業して良かったと思います。令和では、赤ちゃんと無縁だった大人が、初めて接するのがわが子という例が増えています。「情報があふれる中、対面だからこそ、その人に合った情報を伝えることができます。ママやパパには安心して笑顔になってほしい」と樋口さんは話します。

看板にはメッセージを
込めたロゴマークが



パパママクラス
での指導の様子



樋口 美貴子さん(見尾)

助産師。結婚を機に夫の実家がある真庭市に移住し、自宅で助産院を開業。落合病院での夜勤や、パパママクラスなどで講師を行う。夜空を見上げるのが好きで、日課は夜の散歩。夫とバイクでツーリングするのが趣味。

(助産院の利用には真庭市の産後ケア事業が利用可能)

ように、出産や子育てに悩むママやパパを見守りたい。咲月助産院の看板の月と星は、ロゴマークであり樋口さんから来院者へのメッセージです。「妊娠期間中から助産院やパパママクラスなどに来て助産師とつながってほしい。ママやパパが自信を持って、子どもが生まれてきて良かったと思えるよう手助けできたらと思います」。出産や子育てに悩むママやパパの力強い味方です。

